

【席 順】

	長尾	鈴木	石垣	新田	太田	和田	苛原	中野	井原	
満岡	<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 100px; margin: auto;"></div>							小倉		
伊藤								川越		
二ノ坂								岡田		
外山								英		
國枝										
牛谷								佐々木		
	安中	白髭	土井	渡辺	大石	大和	平原		徳地	小林

日 時	2017年 11月 23日 (木・祝) 17:15~18:15		
場 所	東京ビッグサイト 国際会議場 601会議室		
出席者	新田 國夫	東京	新田クリニック
	石垣 泰則	静岡	城西神経内科/コーラルクリニック
	鈴木 央	東京	鈴木内科医院
	苛原 実	千葉	いらはら診療所
	太田 秀樹	栃木	医療法人アスムス
	和田 忠志	千葉	いらはら診療所
	中野 一司	鹿児島	ナカノ在宅クリニック
	小倉 和也	青森	はちのへファミリークリニック
	川越 正平	千葉	あおぞら診療所 (上本郷)
	岡田 孝弘	神奈川	オカダ外科医院
	英 裕雄	東京	新宿ヒロクリニック
	平原 佐斗司	東京	梶原診療所
	佐々木 淳	東京	医療法人 悠翔会
	大和 太郎	石川	やまと@ホームクリニック
	大石 明宜	愛知	大石医院
	渡辺 康介	京都	医療法人社団 都会
	長尾 和宏	兵庫	長尾クリニック
	二ノ坂 保喜	福岡	このさかクリニック
	伊藤 大樹	福岡	あおばクリニック
	満岡 聡	佐賀	満岡内科クリニック
	白髭 豊	長崎	白髭内科医院
	安中 正和	長崎	安中外科脳神経外科医院
	外山 博一	宮崎	外山内科神経内科医院
陪席	井原 辰雄		国立長寿医療研究センター
	土井 正樹	京都	土井医院
	小林 篤史	京都	かめおかゆう薬局
	徳地 正純	京都	徳地歯科医院
	國枝 良行	宮崎	あけぼの診療所
	牛谷 義秀	宮崎	クリニックうしたに

<p>議題等</p>	<p>1 開会 挨拶 新田國夫会長 2 出席世話人の近況・活動等 報告 3 議事</p> <p>【報告事項】</p> <p>○事務局 入会状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公)全日本病院協会と看護特定行為の研修事業 e-learning 教材作成協力依頼承諾 ・第3回 全国在宅医療会議への参加 11月8日 ・「日本在宅ケアアライアンスの在宅医療臨床研究」研究協力に関するアンケート結果報告 ・厚生労働省 医道審議会保健師助産師看護師分科会看護師特定行為・研修部会委員・老人保健健康推進事業地域包括ケア研究会委員 等 委嘱 <p>○教育・研修局</p> <p>○IT・コミュニケーション局</p> <p>○第2回 在宅医歯薬連合会全国大会（京都）について（土井先生）</p> <p>○第6回（平成30年度）全国大会（京都）について</p> <p>○その他</p> <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療の国際教育協力部の発足について ○診療報酬を含む制度に関する検討部会について（継続審議） ○世話人不在県の世話人の推挙について（継続審議） ○宮崎県世話人について 外山先生推挙 國枝良行先生 ○愛知県世話人について 亀井克典先生 ご辞退 小倉行雄先生 推挙 ○その他 ○次回世話人会議開催日程について （事務局案）2018年5月26日（土）又は27日（日）第6回全国大会に合わせて 京都にて
<p>議事等</p>	<p>太田：ただいまより、平成29年度第2回世話人会議を開催する。</p> <p>まずは、皆さまから近況報告を頂きたいが、時間の関係で報告事項のある方お願いしたい。</p> <p>白髭：長崎のフォーラムの準備をする中で、その対象をどうするかという話し合いになった。</p> <p>勇美の立場からすると市民を含めての開催が望ましいと思うが、今回のテーマが病院と在宅の連携で、内容が専門職向けであったので、在宅医療に関心のある方、としたのだが。</p> <p>和田：市民も参加できるフォーラムが条件になっている。</p> <p>太田：コンテンツが専門職対象であっても、関心の高い市民は参加できるように。</p> <p>白髭：また100万円での運営が厳しい場合、スポンサーをつけての開催、他との連携は可能か。</p> <p>和田：私的な業者から補助金を受けるのは不可。県・県医師会などの公的・公益的な団体とのタイアップで開催することは可能。</p> <p>太田：では、議事に入る。まずは、事務局から。</p> <p>入会状況については、微増。地域のお仲間に入会を勧めてほしい。</p> <p>日慢協はすでに在宅に理解があったが、公)全日本病院協会においても在宅医療を視野に入れ、猪口会長のお言葉からも認識が伝わってくる。看護特定行為の研修事業 e-learning 教材作成について、在宅の部門は協力して欲しいという依頼があり、協力させていただくことになった。</p> <p>また、11月8日第3回 厚生労働省 全国在宅医療会議へ参加してきた。今年は、肝いりで、ワーキング等も行い会議の成果が法整備などにも反映できるような方向になると期待している。</p> <p>「日本在宅ケアアライアンスの在宅医療臨床研究」研究協力に関するアンケートを取らせていただいた。結果を添付したが、1/3 くらいの方から、協力したいという回答を頂いた。在宅医療の現場からのエビデンスが非常に重要で、大学病院や研究機関ではできないこと。良質な在宅医療を提供している我々が、フィールドとして協力していこうという意</p>

思表示かとうれしく思う。

その他、厚生労働省医道審議会をはじめ、様々な研究会・委員会・検討会などの委嘱を受け、参加している。依頼があった際は、どなたに受けていただくか検討し、我々で対応できるものは受け、正しい在宅医療を伝えていきたい。次に、教育研修局から。

和田：今年度のブロックフォーラムについて、今年度から新たに首都圏ブロックを設定し、埼玉県で開催した。開催実績と予定は、資料の通り。

次に在宅医療関連講師人材養成事業について、勇美記念財団と在宅ケアアライアンスで行っているが、当連絡会の先生方にも多くご協力頂いている。ワークショップを行うにあたってご尽力いただいている。

病院在宅医療研修会について、勇美記念財団の助成が得られ、国立長寿医療研究センターとの連携で開催している。当会の先生方から募集している。今年は、福岡市の伊藤先生、藤沢市の篠原先生、伊勢崎市の大澤先生に開催していただく。

台湾在宅医療学会来日研修について、日本医師会を通じて日本在宅ケアアライアンスでおこなう。こちら、先生方にご協力頂くのでお願いしたい。

研修医のための在宅医療研修会について、11月26日（日）に参加者35名で開催予定。この研修会に参加し、実際に在宅医療を見たいという希望者は、診療所で研修できる。研修医の研修先についても、皆様にご協力頂いている。

次は、協議事項にもあがっているが、国際教育協力部の発足に関して。この2月5日からの台湾在宅医療学会の研修もあるが、その他にも、台湾台北市民病院の孫院長から教育連携の依頼があった。海外からの研修依頼や協力・提携依頼などに対応しなくてはならない。窓口は、日本医師会や日本在宅ケアアライアンスになると思うが、実際は、当会が中心になって受けていく。そこで、国際教育協力部のような形を作って、研修プログラム作りやマネジメント、協定書づくり等、様々な海外からの依頼を受けていきたい。内諾を得た先生方は、福岡の伊藤大樹先生、総合在宅医療クリニックの市橋亮一先生、あおぞら診療所の北田志郎先生、国立長寿医療研究センターの千田一嘉先生、外国語が堪能であったり、海外経験が豊富な先生に入っただき、協力を得ながら進めていきたい。

太田：次に、宮崎県医師会の資料を頂いている。

外山：昨年、次の世代の世話人として石坂先生に入ってもらったが辞退された経緯があり、若手で頑張ってくれている國枝先生を世話人に推薦し、本日は、宮崎ドクターネットの理事長牛谷先生と陪席している。

國枝：まだ開業して4年目だが、外山先生・牛谷先生と共に宮崎在宅ドクターネットの副理事長をやらせていただいている。そこで、昨年度「人体シミュレータを用いた在宅医療研修会」というのを開催した。

牛谷：今日お配りした黄色い冊子は、宮崎県の在宅医療協議会の中で、多職種からなる在宅医療研修企画会で、医師や訪問看護師・病院の看護師が主体でプログラムを作り、研修にあたっている「人体シミュレータを用いた在宅医療研修会」の資料。在宅医療について、座学はもとよりシミュレータを使った研修ができることで、潜在的な看護師や介護士が現場に戻りやすくなったり、自分の技術を確かめたいということで、昨年4月から始めている。

14項目の内容に基づいて、項目ごとに1時間から1時間半くらい。今年は2回に分けて、3日間で行う。県の医師会の仕事だが、これを使って地域の多職種連携の中でお互いの職種を知るきっかけになったり、現場に入りやすくなったりという事で始まった取組み。今後とも続けていきたい。

太田：外山先生からもお話しいただいたので、宮崎県の世話人交代ということで、國枝先生に世話人に就任いただくことについて、諮らせていただく。⇒承認

中野：IT・コミュニケーション局からは、メーリングリストは活性化している。現場からの良い意見が聴ける。それをどうまとめて、要望として届けられたら良いと思っている。今後もメーリングリストにご意見を頂きたい。

太田：公式な場ではないにしても、国の人と懇親する場もあるのでそういった時にも要望は出している。反映されているのではないかと思います。

第2回全国在宅医療医歯薬連合会 京都大会について、今日は、事務局の土井先生にも参加いただいている。

土井：前回の世話人会議でも紹介したが、第2回全国在宅医療医歯薬連合会について、大会長は、京都府医師会の副会長、また京都府介護支援専門員会の会長を長年されていた上原春男先生。現在、ホームページも立ち上げて、プログラムを作成中。今日、新田先生・太田先生からも意見を頂き、より充実したプログラムを作っていきたい。順次、ホームページを更新していくので、皆様からのご意見を頂きたい。テーマは、「多職種で織りなすチーム医療」、京都府の多職種にも呼び掛けて多くの人にご参加いただきたい。医療・介護報酬同時改定の直後でもあり、最新の話題やご当地の紹介なども盛り込み、充実した会にしていく。在宅療養支援診療所連絡会の大会長は、渡辺先生、薬科・歯科それぞれの会、連合会とも、よろしく願います。

太田：5月26日（土）・27日（日）に国立京都国際会館にて開催する。この時期の京都の見どころは。

土井：最近、海外の観光客も増え、4月はホテルも取りづらいが、5月末は、観光客もひと段落ついて、ゆっくり観光できる。

太田：第6回大会長の渡辺先生からも願います。

渡辺：平成30年度の全国大会の大会長という事で、鋭意準備を進めている。プログラムの大枠は決まってきた。1500名の動員を見込んでいて、収支が上手くいくか心配もある。皆さまの参加をお願いしたい。医師のみで、4~500名参加してほしい。座長等の依頼もこれからしていくと思うが、よろしく願います。

太田：本日は、歯科・薬科の先生にも陪席いただいている。ご挨拶を。

徳地：歯科の方も、第1回に負けないよう、準備を進めていく。

小林：薬科の方では、人数をまだまだ集められると思う。精一杯、盛り上げていく。

太田：他に何かあれば、願います。

長尾：独居での看取りが可能かという課題について、勇美記念財団より助成を受けて、2か月ほど前にフォーラムを開催した。また、看取りの実態について、連絡会のメーリングリストを利用して、アンケート調査を行いたい。その結果は、12月22日の在宅医療推進のための会で発表することになっている。また、来年2月、「独居の看取り」という演劇をやり、DVDも作成・配布を予定している。

太田：他に何かあれば、願います。

石垣：ご存知の方もいらっしゃると思うが、再来年の5月1日をもって、日本在宅医療学会と日本在宅医学会が合併して、日本在宅医療連合学会という形に移行する。現会員はそのまま移行する。日本在宅医学会は、医師を中心とした会だったが、連合学会の方向性としては、在宅医療に関心がある方、貢献したい方を含めて、多職種に広げた会員構成にしている。今後も、状況に関しては、この会を通じて報告させていただく。

太田：来年度の在宅医学会の大会長の川越先生、願います。

川越：来年の4月29日（土）・30日（日）品川のグランドプリンスホテル新高輪において、第20回日本在宅医学会を開催する。在宅医学会としては最後の大会となる記念大会で、通常8会場だが、12会場で行う。病院や行政なども含めて地元の民さんも巻き込んで参加していただくと中身のある議論ができるのではないかと考えている。是非、ご参加ください。

太田：協議事項に移る。
先ほど和田先生から議題として挙げられた、国際教育協力部（仮称）について、ご異議がなければ、こういった活動も当会で進めていくという事、また、メンバーについても具体的に挙がっているが、いかがでしょうか。⇒承認
診療報酬を含む制度に関する検討部会について、たびたび話題に出て、議論がなかなかまとまっていないが、どうしたらよいか。

石垣：診療報酬については、日本在宅医学会の来年度の執行体制が決まり、白髭先生に保険担当理事に就いて頂いた。白髭先生を推薦させていただきたい。

太田：この会の会員の多くが、日本在宅医学会のメンバーでもあり、是非、一緒に動いて頂きたい。

新田：診療報酬等に関する検討部会で、しっかりと議論をした方が良いと思っている。

太田：地域担当官の意向によって、ルールの解釈が異なるのは問題。また、IT化が進みすぎた事で、いつ記載したものかという事（記入漏れを追記した証拠が残る）などをどのように

	<p>受け止めるか、各厚生局の判断になってしまう等、新たな課題も生じてきている。 診療報酬を含む制度に関する検討部会について、白髭先生をメンバーとして発足する。日本在宅医学会と共に現場の声を反映させていく。 ⇒承認</p> <p>続いて、世話人不在の県について、メディア等からの評判だけでは判断しきれない。医師会に加入し職能団体とも良い関係性を構築しているような地元でも評判の良い先生をご推薦いただきたい。ご推挙いただければ、メーリングリスト等で諮らせていただき問題がなければ世話人としてお仲間に入らせていただきたいと思っている。</p> <p>宮崎県の世話人については、先ほど國枝先生に就いていただくことで承認を得た。 愛知県の世話人について。</p> <p>大石：先日、愛知県の連絡会の総会があり、その席で、亀井先生から世話人を辞退したいという申し出があった。理由は、きくぞの内科在宅クリニックを今年4月に閉院し、母体のかわな病院を在宅医療支援病院として活動されている、という事情がある。代わりに名古屋のトータルサポートクリニックの小倉行雄先生、9つの診療所で3,800名の在宅患者を診ている先生、若くて頑張っている先生なので推薦させていただきたい。</p> <p>太田：愛知県のどの地域で活動されているか。</p> <p>大石：本体は名古屋にあるが、愛知県の7割ほどの地域をカバーされている。第4回全国大会の際もお手伝いいただいている。</p> <p>太田：ご意見がなければ、小倉先生にお引き受け頂く。 ⇒承認 他に何かあれば、お願いしたい。</p> <p>新田：地区医師会との良好な関係でいることは、大変重要。</p> <p>鈴木：週刊朝日MOOKの「さいごまで自宅で診てくれるいいお医者さん」について、前回は20名以上の看取りのあったところしか掲載していなかったが、今回は要件を緩和している。</p> <p>太田：次回の世話人会議の日程について、全国大会に合わせて、初日26日懇親会の前に1時間程度。ご都合の付く方にご出席いただきたい。内容については、議事録をメーリングリストにて共有し、意見交換も可能。</p> <p>次回の世話人会について、2018年5月26日(土)懇親会の前 ⇒承認</p> <p>太田：以上で、平成29年度第2回世話人会議を閉会する。</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○議事次第・世話人名簿・会員状況・日本在宅ケアアライアンス在宅医療臨床研究アンケート ○教育・研修局より ○平成29年度第1回社員総会 議事録 ○宮崎県医師会「人体シミュレータを用いた在宅医療研修会～在宅医療スキル&シミュレーションコース」テキスト
事務局	岩本 佳代子